

## 世界の主な火山活動

平成 25 年（2013 年）5 月に噴火したと報告された主な火山（日本を除く）は下図のとおりである。

### マヨン (Mayon) フィリピン (図中 A)

5 月 7 日、小規模な水蒸気噴火があった。大きな噴石が登山客に当たり、5 人が死亡、8 人がけがをした。

### パブロフ (Pavlof) アメリカ合衆国 (図中 B)

13 日に噴火活動が始まり、山頂から溶岩と火山灰が噴出した。溶岩は北西山腹を流下した。有色噴煙は最高で 6.7km まで上昇し、50~100km 流れた。14~21 日にかけて、北東方向に約 80km 離れた地域で少量の降灰が数回観測された。20 日には、地域航空会社がいくつかの便を欠航にした。24~26 日にかけて噴火は小規模になり、表面温度上昇や噴煙は観測されなかった。

### ポポカテペトル (Popocatepetl) メキシコ (図中 C)

7 日、地震活動の急増とともに噴火活動が活発化し、それ以降、爆発的噴火が断続的に発生した。降灰は、最大で約 50km 離れた地域でも観測された。16 日と 17 日には規模の大きい爆発的噴火が発生し、噴煙は最大で 4 km 以上まで上がった。高温の噴出物が火口から 1.5km の所まで飛散した。23 日の爆発的噴火では、大きな噴石が火口から 1.5km の地点まで到達した。

(以上、米国スミソニアン自然史博物館の GVP (Global Volcanism Program) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針 (参考編)」による。)

